

子宮出身の  
すべての人たちへ贈る  
感動のドキュメント



両親の不仲、虐待の経験から  
親になることに戸惑う夫婦。  
出産予定日に我が子を失った夫婦。  
子どもを望んだものの  
授けられない人生を受け入れた夫婦。  
完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。  
全てが「うまれる」  
ストーリーです。



“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、  
この映画を作ったのかもしれない”

自分は愛されているのだろうか… 自分は本当にこの両親の子ども  
なんだろうか… 物心ついた時から、僕はそう思っていました。  
4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で産まれてきたことから、  
両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らず  
に育った気がしていました。

自分はなぜうまれてきたのか、何のために生きているのか… 自分  
の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く  
夢を描けませんでした。

そんなある日。講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれて  
くる」という胎内記憶の話の話を聞きました。

自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないと  
ずっと思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、  
心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任  
があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは… 長らく抱いて  
いた否定的な感情が少しずつ消えていくのを感じました。

「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自身、  
両親との関係を築き直せるかもしれない……。

それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦を取材・撮影さ  
せていただけてきましたが、「うまれる」ことを知れば知るほど、そ  
の奥深さと神秘に僕は圧倒されました。

産まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では  
分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか？  
全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたらう  
れしいです。

企画・監督・撮影 豪田トモ

あなたの町で映画「うまれる」を上映しませんか？

自主上映会サービスの詳細 & お申込は公式HPより



# うまれる

ナレーション：つるの剛士 企画・監督・撮影：豪田トモ  
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー  
©2010 「うまれる」パートナーズLLP  
2010/日本/カラー /HD-35mm/104分 /ビスタサイズ/DTS STEREO

[www.umareru.jp](http://www.umareru.jp)



命のドラマが書籍になりました。

「うまれる かけがえのない、あなたへ」

豪田トモ著 PHP 研究所 1,470円 (税込)

主催 「うまれる」上映会 in アミカ実行委員会

後援 札幌市・札幌市教育委員会

お問い合わせ フリースペース&カフェ アミカ

TEL 011(631)2822 <http://www.amिकासpace.com>

※ママさんタイム：3歳未満の赤ちゃんも同伴可となっておりますので、ご了承ください。

※バリアフリー上映：字幕スーパー付きの上映です。